

神納川流域で「紀伊山系直轄砂防事業」として初めてとなる工事に着手

「小井谷砂防堰堤 起工式」を開催！

～紀伊山系砂防事務所～

熊野川上流に位置する奈良県十津川村の神納川流域では、崩壊地からの土砂流出や河道への土砂堆積による河床上昇が顕著であり、土砂・洪水氾濫被害のおそれがあることから、地域の安全確保が望まれています。そこで、神納川流域において「紀伊山系直轄砂防事業」で初めてとなる砂防堰堤工事に着手します。本格的な事業実施に先立ち、本事業の早期完成による土砂・洪水氾濫被害の軽減、地域の安全・安心の確保を目指した起工式を執り行いました。

神納川流域 現在の状況



神納川上流部の斜面崩壊地等から土砂が流出



河道内に土砂が堆積



位置図

起工式



■ 田野瀬衆議院議員 来賓祝辞

地域を守る治水、治山、砂防の尊い事業の一環として神納川の砂防事業がスタートすることを共に喜びあえることが何より。早期の竣工を持って本地域及び下流域の安全、安心を高められることを心待ちにしている。



■ 堀井参議院議員 来賓祝辞

今日に至るまで尽力された方々の努力の積み重ねがあって本日の起工式があることに、心から敬意と感謝を表す。将来にわたって地域の方々が安心して住むことができるよう、今後も事業の継続に対して努力していく。



■ 更谷十津川村長 閉会の辞

平成23年紀伊半島大水害の爪痕はまだまだ残っており、不安な日々を過ごしているところ。小井谷砂防堰堤の起工は我々村民にとって大変うれしく感謝。今後もそれぞれの立場から一丸となって対策を進めたい。



■ 栗原砂防部長 挨拶

実現に向けた地域の活動もあり小井谷砂防堰堤の着工となったが、地域の安全確保のため一日も早い事業完了を目指し取り組んでいく。



■ 池田近畿地方整備局長 挨拶

砂防堰堤の整備により、下流への土砂の流下を抑制することで、当地域の安全で安心な生活の確保を目指す。



式典のようす



紀伊山系砂防事務所長による事業概要説明



鍬入れのようす

日 時：平成30年5月20日(日) 14:00～14:40

場 所：旧五百瀬小学校 体育館 いもせ
(奈良県吉野郡十津川村五百瀬)

主 催：近畿地方整備局、十津川村

出席者：43名(議員、行政、地元関係者、施工業者等)

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山系砂防事務所 工務課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111 (代)

